MICE施設の誘致について 西経会・Moretopの会 意見交換会提言書



商 エセンター の 未 来 へ の 提言

・【MICE施設に関する意見】11月27日

- ・会場が不足していることにより、広島市で開催できなかった全国会議やイベントが実際にある。MICE施設が建設されることによって、大変大きな機会が生まれると思う。(野村会長)
- ・展示会ができるような施設は非常に良いと思うが、運営ベースで採算が合わない大きなものを造ると後々大変だと思う。(野村副会長)
- ・MICE施設を造る目的とターゲット、周辺の交通網の整備が、MICE施設が充実するポイントになると思う。(竹本幹事)
- ・観光バスが停められる駐車場の確保が大変重要だと思う。(佐藤会長)
- ・広島に大型の展示場ができると大変便利になる。そうなれば、宿泊施設も多く 必要になる。広島ならではのものを提案するということが大切だと思う。 (新 田会員)

商 エセンター の 未 来 へ の 提言

・【商エセンター地区全体に関する意見】11月27日

- ・車椅子で動きやすいまちというのは大事だと思う。目の見えない方、歩けない 方のためにも、段差の少ないまち、全体的に人に優しいまちになればよいと思 う。(深川幹事)
- ・商エセンター地区には企業が集中しているため、企業メインの再開発をすることが、広島市の西方面を活性化させることになると思う。(羽根会員)

商 エセンター の 未 来 へ の 提言

【MICEの誘致について】3月1日

- ・モノの集積地から「情報の発信地」「ヒトと情報の集約地」への昇華が果たせる。アクセスが抜群な為、他地区で建てるよりも活用の効果と内容が格段に上となる。(野村会長)
- ・人の出入が増えれば、商業施設が集まり、街に賑わいができると思う。新井口駅からアルパーク、サンプラザと大型施設の老朽化で街が古くなっている様に感じる。新しい大型施設は、全体の雰囲気の向上に繋がると思う。(木村幹事)
- ・イメージパースを見ても夢があり、商エセンター地区は高速3号線も開通して中心部へのアクセスも良好であることや、大型コンサートやイベントが定期開催されるようになれば、周辺企業にも大きな経済効果があり、活性化が期待できると思う。(吉清幹事)
- ・「広島経済の活性化」、「催事開催」におけるヒト・モノ・コト(情報)のメリットが大きい。(田尾会計監事)
- ・広島には、大きい会議場、イベントスペースがないので必要である。 (佐藤会長)
- ・ 国内外の企業等が新しいビジネス等の機会を呼び込む。集客交流により、経済効果が見込まれる。 (寺田副会長)
- ・活性化にシンボルとなる新しい建物が建てば、商工センター地区が活性化する と考える。 (羽根会員)

商 エセンター の 未 来 へ の 提言

・【卸センター地域の景観事業について】3月1日

- ・ 開かれた明るい街へとイメージアップが果たせる。所在企業のイメージアップ に繋がる。 (野村会長)
- ・他県卸団地でここまで行っている所は少ない。(野村副会長)
- ・ 地域の特徴を出すことは良いと思う。 (青山幹事)
- ・景観の統一は街並としてはキレイだと思うが、企業個々の特徴は無くなっていくと思う。流通の企業の地区と、商業施設の地区は景観の区分けはしてほしい。 (木村幹事)
- ・統一ロゴによるサイン計画は人目にもついて目印にもなり、一般の方にも認識 しやすくなると思うが、逆に見た目が悪く、景観を損なうという印象もあると 思う。(吉清幹事)
- ・活性化への一番の近道だと思う。(黒田副会長)
- ・ 街のイメージが良くなると思う。 (新田会員)
- ・夜は閑散としているが、ライトアップにより少し派手にするのもいいし、せっかく海があるのだから、人が集まれるような場所をつくるのも良いと思う。 (羽根会員)

商 工 せ ン タ 未 来 へ の 提言 ・【その他】3月1日

観光・ビジネス・ショピングについて、きちんとゾーニングしてほしい。(寺田副会長)

商 工 せ ン タ 未 来 へ の 提言

【現在の問題点】

「MICE施設が広島に存在しないことによる経済的・文化的機会損失(チャンスロス)」 (機会損失の場合、実害がないので多くの人が気付いていない)

商 エセンター の 未来への提言

【現在の問題点の補足】

「国際会議や国際展示会が他の政令指定都市で 開催されることにより、人・情報・モノ・金 といった資源が他都市に流れている。」 「会場の問題で選択肢に入っていないという事 は、広島の未来を考えると大きな問題である」 「この問題は日々の時間の中で積み増しがされ ている。出来うる限り、早期の解決を図る必要 がある。」

商 エセンター の 未 来 へ の 提言

【立地から見る、理想的なMICE施設】

- ・展示会や大規模イベント等において、来場者が最も 求めることは「利便性」である。
- ここでいう「利便性」は、公共の交通機関で目的地まで着けるかどうか、そして最寄りの駅からどれだけ近いかである。
- ・他県や海外からの視察や会議出席を考えた場合、公 共の交通機関を利用する方が殆どとなる。
- ・また、移動に時間がかかる場合、滞在時間の減少に 繋がる事となることを考えねばならない。

商 工 センター の 未 来 へ の 提言

- ・【商エセンターの立地的特徴】
- ①公共の交通機関(JR新井口駅)より徒歩数分という立地条件。
- ②多くの企業が所在しており、様々な商品・資材 の集積地という役割を担う地域。
- ③新井口駅から施設候補地までの歩行者の導線の 明るさ。(アルパーク、公園、複合シネマ等)
- ④平和公園と宮島の中間地点であり、観光資源が有効 活用出来る。国際的なPRにも繋げやすいという立地。 中長期滞在にも期待出来る。

商エセンターのの規言

・【MICE施設が商工センターに作られることによる、所在企業へのプラスインパクト】

- ①有益な情報を早期に得る事が出来る。
- ②幅の広い情報を多岐に渡って得る事が出来る。
- ③様々な面での消費の増加が期待出来る。
- ④情報の受信側から、情報の発信側に立ち位置を 変化させる事が出来る(経営革新)。
- ⑤明るい未来に希望が持てるようになる (会社・ 従業員・家族・地域の方々)

商エセンターのの提言を表える。

【現状分析による、MICE施設の設置場所】

・以上の事案を踏まえると、

「商エセンターは理想的な立地」

であると考える。

商エセンターのの規言

【意見集約】

- ・2回に渡り、商エセンターの未来について意見交換 会を開催。
- 2回目の意見交換会では、参加者全員が商エセンター地区の活性化に「MICE施設が必要」という意見で一致した。
- ・また、同会ではほぼ全員が「卸センターの景観事業 は必要」と述べた。
- 今後も商エセンター活性化の為、「MICE施設の誘致」及び「卸センター地区の景観事業」の実現に向けて、行政と地元(卸センター、地域企業)が一体となって協議を進める事が求められる。
- これからの前向きな進捗に期待したい。